

Jミルクが2021年10月1日に公表した「需給見通し(※2021年7月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《家庭内消費の継続的な拡大努力が重要～経済回復による需要回復に期待～》

- ・8月の需給実績について、生乳生産は北海道・都府県ともに好調に推移したが、飲用需要については、前年を大きく下回っており、脱脂粉乳・バター等向の処理量は前年より大きく増加した。
- ・9月の牛乳販売動向(インテージSRI+実績:前年比97.7%、Jミルク予測:前年比97.6%)については、統計が高めに出ることを勘案すると、予測値から若干上振れして推移している可能性がある。
- ・直近(10/4週)の牛乳類の家庭内消費については、前週(9/27週)から販売個数は減少しているが、牛乳と加工乳については前年を上回った。また、ヨーグルト類については、全ての品目で前年を上回ったものの、家庭用バターについては販売個数が前週から大きく下回った。
- ・「緊急事態宣言」等の制限措置が解除され、業務用需要の回復が期待されるところではあるが、今後は飲用不要期になるため、引き続き家庭用を中心に積極的に需要拡大に取り組んでゆくことが重要となる。

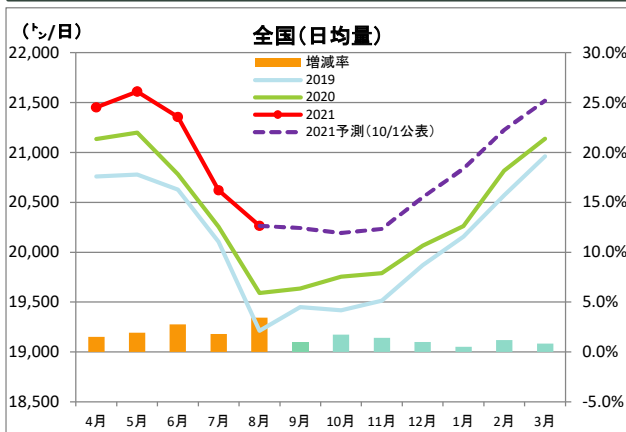
※「2021年度の生乳及び牛乳乳製品の需給見通しと課題について」(10/1公表)

<https://www.j-milk.jp/gyokai/jukyuh/h4ogb4000007pyb.html>

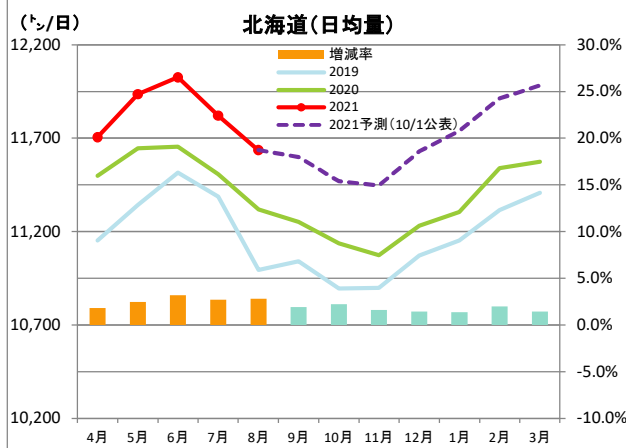
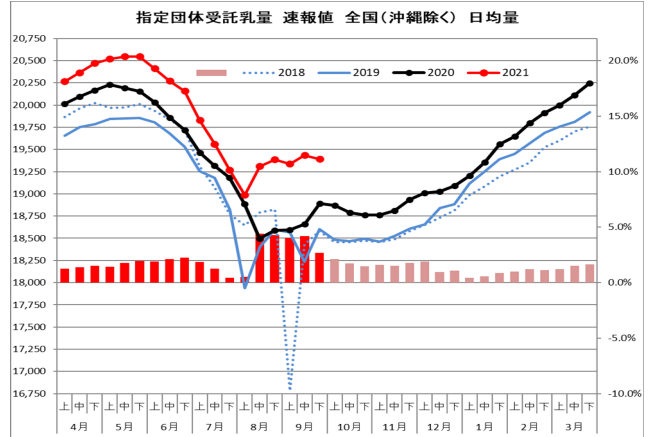
【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)8月の生乳生産量は、全国628千ト(前年同月比103.4%)、北海道361千ト(同102.8%)、都府県267千ト(同104.3%)。

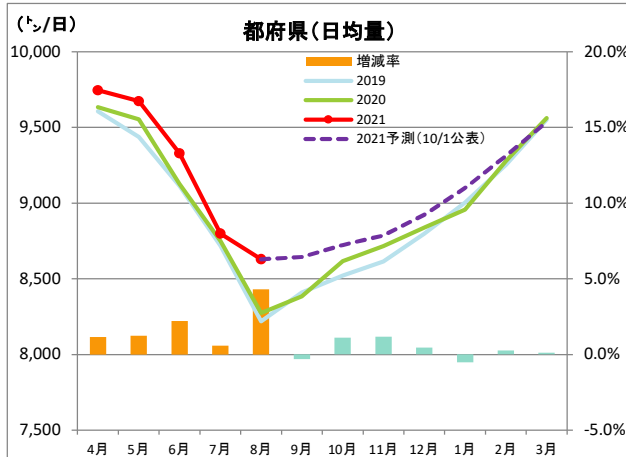
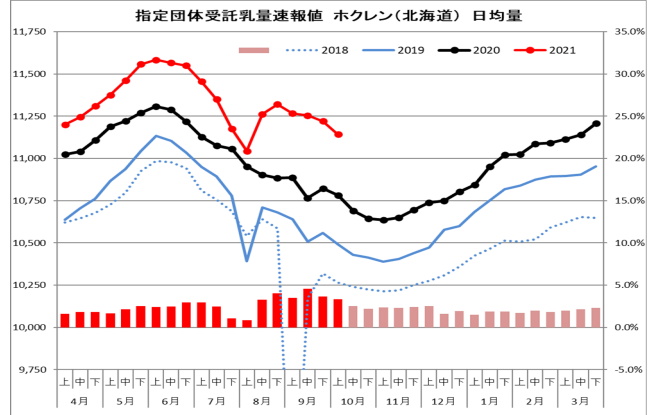
(2)直近の指定団体速報値によると、全国が同102.7%(9月下旬)、北海道が同103.4%(10月上旬)、都府県(沖縄除く)が同101.3%(9月下旬)。



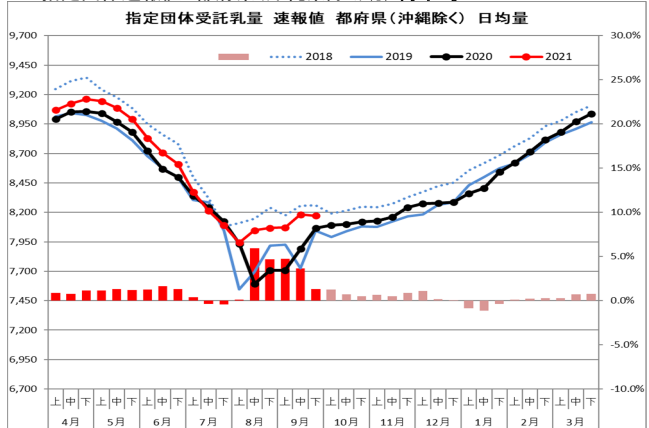
指定団体速報値 全国(沖縄除く)※9月下旬



指定団体速報値 ホクレン※10月上旬

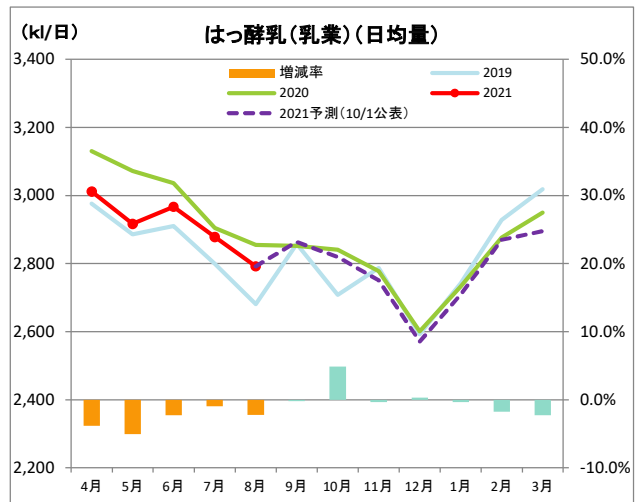
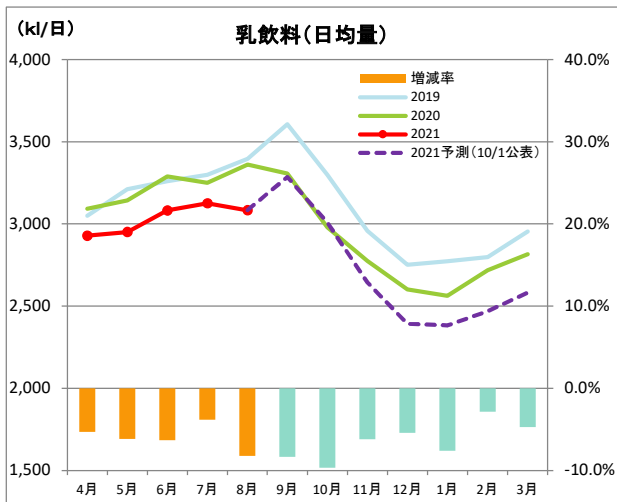
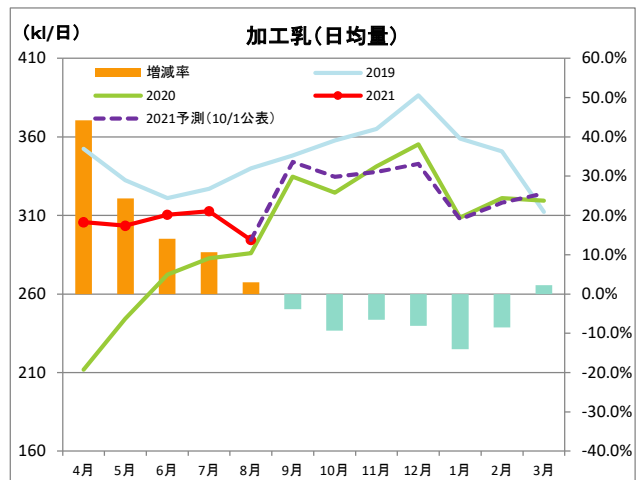
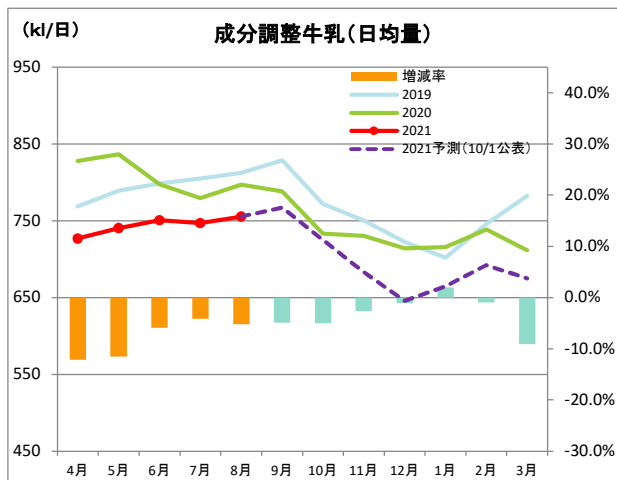
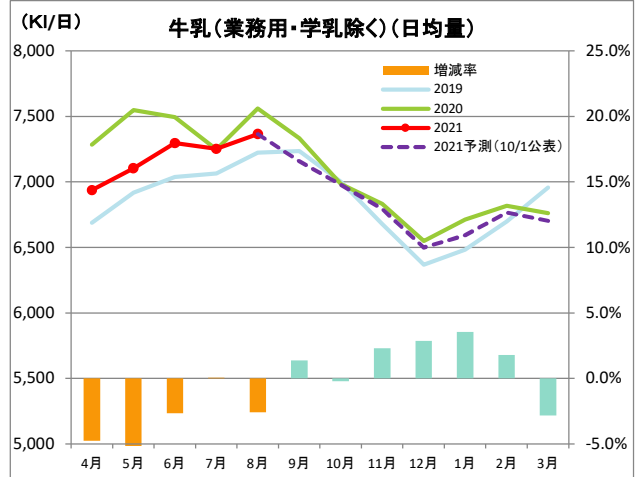
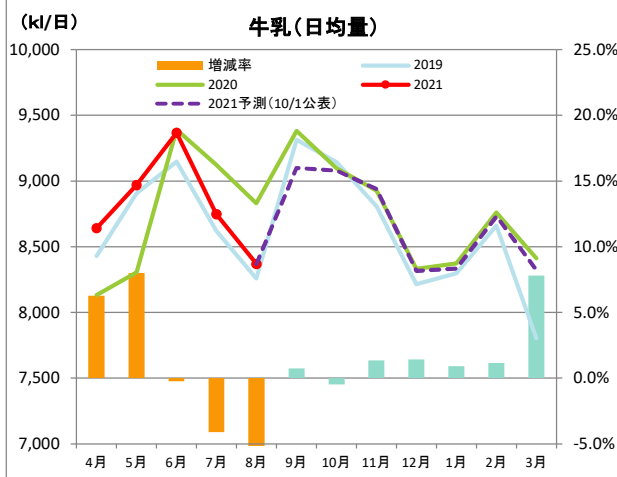


指定団体速報値 都府県(沖縄除く)※9月下旬



**【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。**

- (1) 8月の牛乳等生産量は、牛乳259千kl(前年同月比94.8%)、成分調整牛乳23千kl(同94.8%)、加工乳9千kl(同102.9%)、乳飲料96千kl(同91.8%)となり、牛乳類合計では388千kl(同94.2%)となった。
  - (2) 「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同97.4%、「業務用」は同109.0%。
  - (3) はっ酵乳(乳業)は87千kl(同97.8%)と前年を下回って推移している。
- また、非乳業実績(7月)については、同98.2%と前年を下回って推移している。

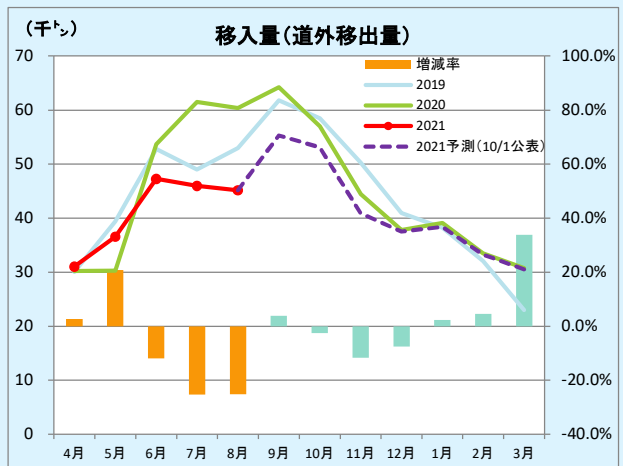
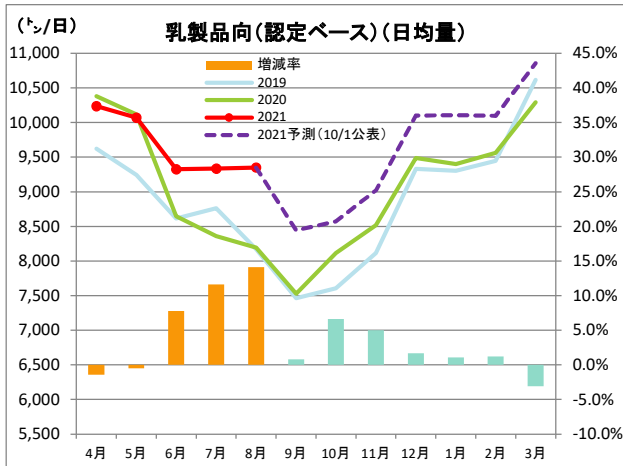
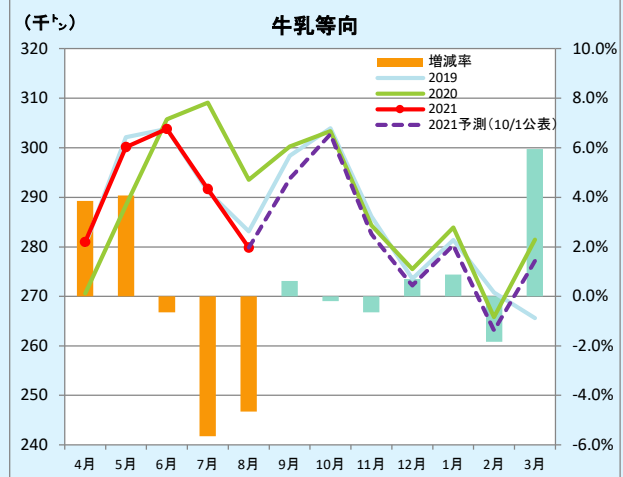
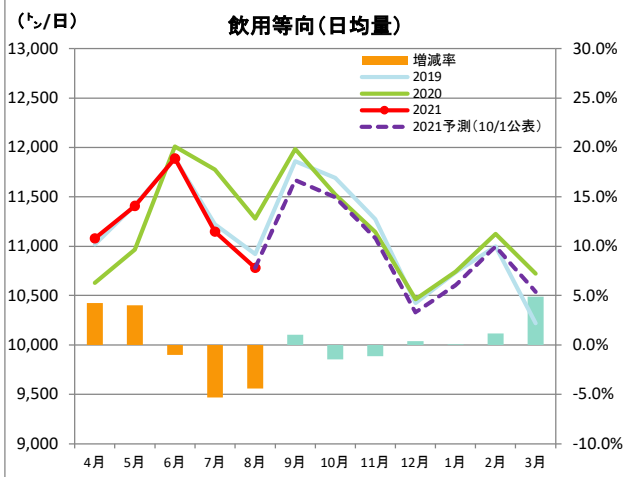
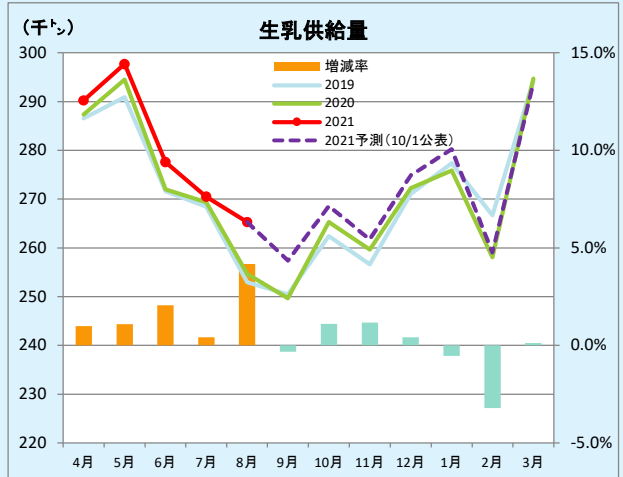
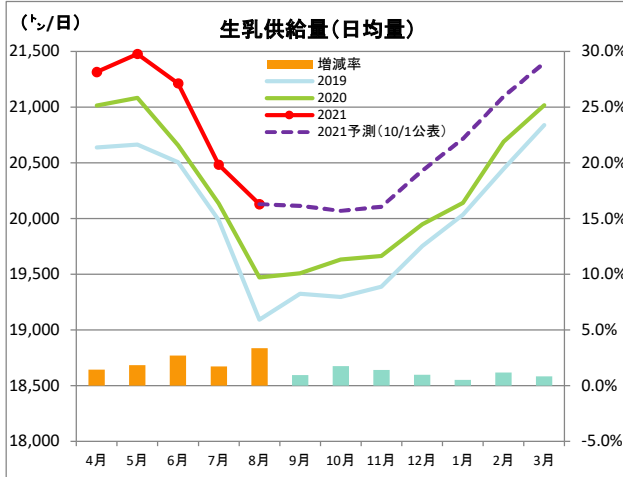


【用途別処理量】※増減率は、日均量で算出。

(1)8月の生乳供給量は624千トン(前年同月比103.4%)、飲用等向334千トン(同95.6%)、乳製品向(認定ベース)290千トン(同114.1%)。  
 (2)生乳生産増、飲用需要減によって、乳製品処理量は前年を大きく上回って推移している。

【都府県の生乳需給】

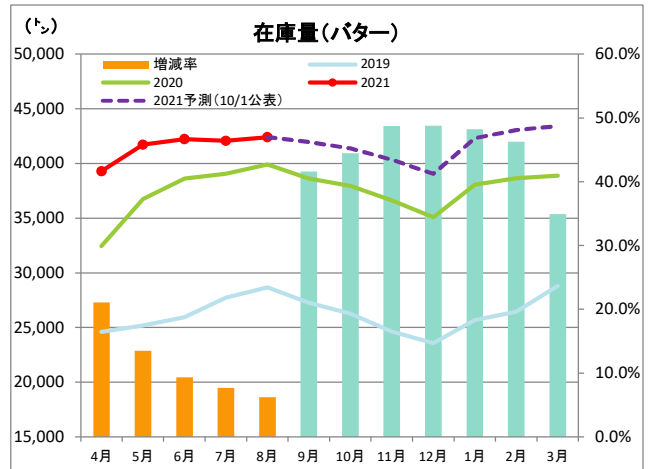
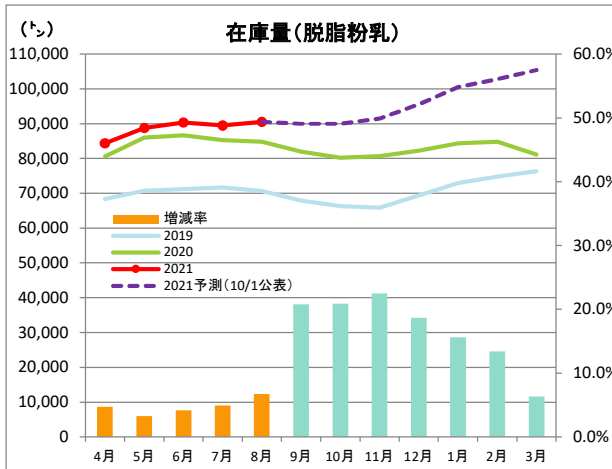
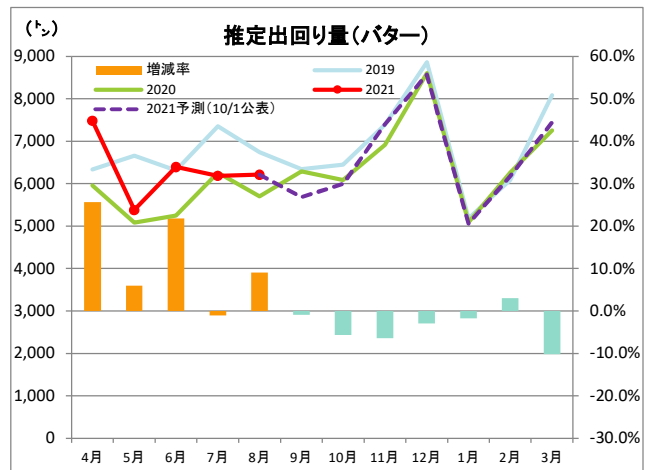
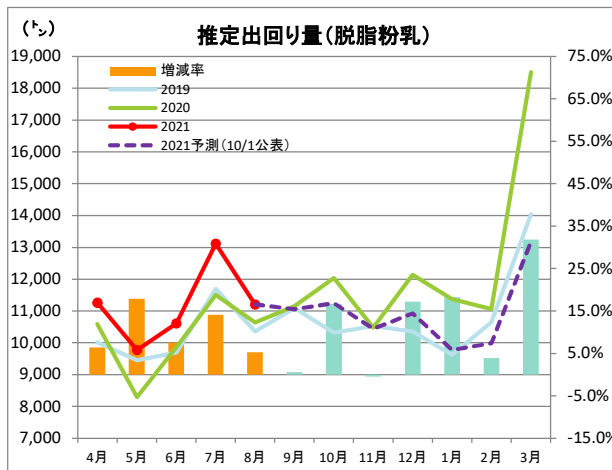
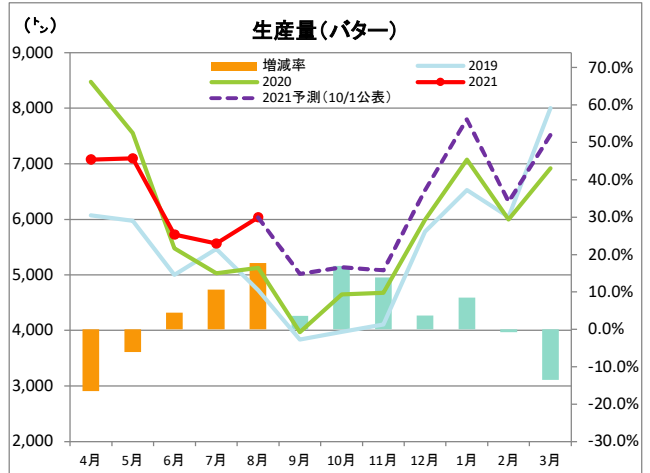
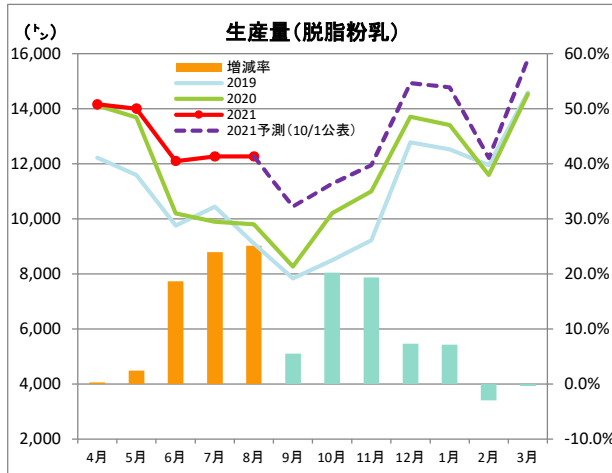
(1)8月は、生乳供給量265千トン(前年同月比104.2%)、牛乳等向280千トン(同95.3%)。  
 (2)北海道からの移入量について、45千トン(同74.8%)と前年大きく下回った。



## 【脱脂粉乳・バター需給】

(1) 脱脂粉乳は、8月の生産量は12.3千トン(前年同月比125.1%)、推定出回り量は11.2千トン(同105.3%)、その結果、在庫量は90.5千トン(同106.8%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を上回って推移している。

(2) バターは、8月の生産量は6.0千トン(同117.7%)、推定出回り量は6.2千トン(同109.0%)、その結果、在庫量は42.4千トン(同106.2%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を上回って推移している。



【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1) 9月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比97.7%、成分調整牛乳:同96.4%、加工乳:同94.6%、乳飲料:同87.0%。  
牛乳類では同95.9%

【参考】2019年度比…牛乳:99.1%、成分調整牛乳:88.6%、加工乳:86.1%、乳飲料:85.3%(牛乳類トータル:95.7%)

・販売単価は、牛乳:189.8円、成分調整牛乳:173.7円、加工乳:190.7円、乳飲料:150.4円。

(2) 直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(10/4週)の販売個数は、牛乳:前年同期比100.3%、成分調整牛乳:同96.6%、加工乳:同105.4%、乳飲料:同94.9%。  
牛乳類トータルでは同99.3%

【参考】2019年度比…牛乳:100.6%、成分調整牛乳:93.3%、加工乳:86.7%、乳飲料:86.3%(牛乳類トータル:97.3%)

・販売単価は、牛乳:189.8円、成分調整牛乳:173.8円、加工乳:190.8円、乳飲料:150.0円。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

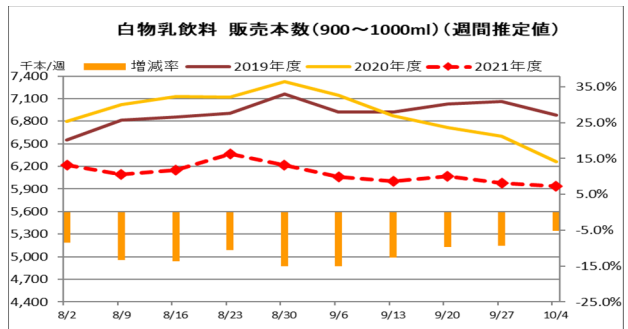
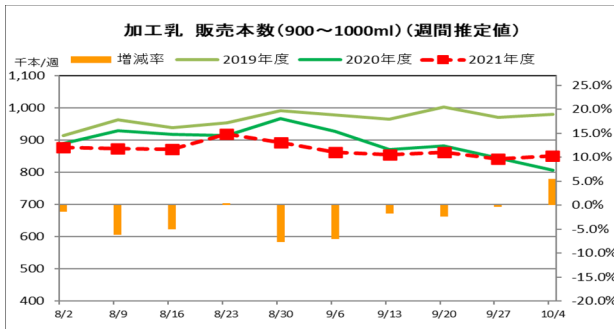
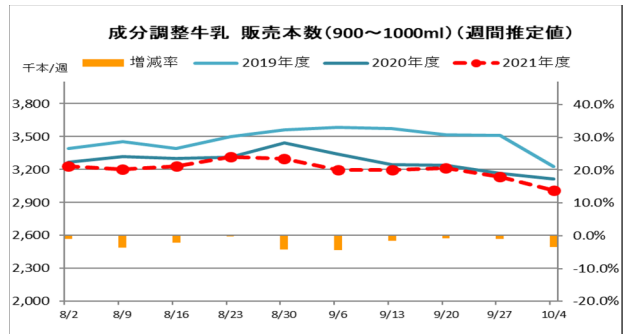
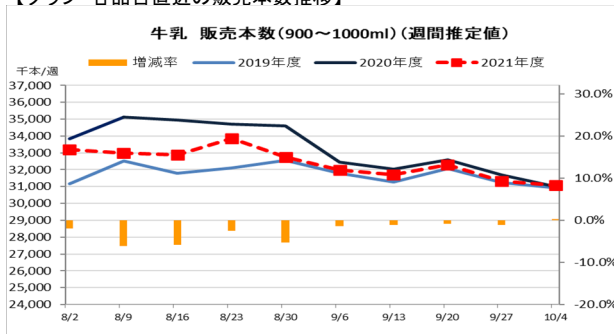
単位:千個、円

品目	区分	2021/5-	2021/6-	2021/7-	2021/8-	2021/9-
		販売個数	185,127	181,385	188,734	193,843
トータル	販売個数前年比	88.7	94.0	98.2	94.6	95.9
	販売単価	182.5	182.3	183.0	183.5	182.9
牛乳	販売個数	141,090	138,006	143,919	147,756	136,745
	販売個数前年比	89.7	94.9	99.8	95.5	97.7
成分調整牛乳	販売個数	13,826	13,413	13,921	14,478	13,642
	販売個数前年比	87.7	94.8	98.0	98.2	96.4
加工乳	販売個数	3,668	3,599	3,804	3,958	3,676
	販売個数前年比	86.8	90.7	96.6	97.2	94.6
乳飲料	販売個数	26,543	26,367	27,090	27,651	25,934
	販売個数前年比	84.7	89.8	90.9	88.2	87.0
	販売単価	150.8	150.1	150.7	150.7	150.4

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	8.16-	8.23-	8.30-	9.6-	9.13-	9.20-	9.27-	10.4-
		販売個数	43,151	44,465	43,155	42,107	41,761	42,451	41,293
トータル	販売個数前年比	93.2	96.5	93.1	96.0	97.0	97.8	97.7	99.3
	販売単価	183.4	183.4	183.1	183.0	182.9	182.9	182.8	182.8
牛乳	販売個数	32,898	33,863	32,744	31,984	31,703	32,309	31,336	31,092
	販売個数前年比	94.1	97.5	94.7	98.6	98.9	99.2	98.9	100.3
成分調整牛乳	販売個数	3,230	3,314	3,298	3,198	3,198	3,213	3,135	3,011
	販売個数前年比	97.8	100.0	95.7	95.7	98.5	99.2	99.0	96.6
加工乳	販売個数	872	919	892	862	855	862	842	851
	販売個数前年比	95.0	100.5	92.3	92.9	98.2	97.6	99.6	105.4
乳飲料	販売個数	6,150	6,369	6,220	6,062	6,005	6,067	5,979	5,940
	販売個数前年比	86.3	89.5	84.9	84.9	87.4	90.3	90.6	94.9
	販売単価	150.2	150.7	150.6	150.4	150.6	150.3	150.1	150.0

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



## 【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の週次動向(表④参照)

直近(10/4週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同100%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。

(2)全ての品目で前年を上回った。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

品目	8.16-	8.23-	8.30-	9.6-	9.13-	9.20-	9.27-	10.4-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→
個食タイプ	→	↘	↘	→	↘	→	↘	→
大容量タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→



:前年比90%未満



:前年比105%以上110%未満



:前年比90%以上100%未満



:前年比110%以上120%未満



:前年比100%以上105%未満



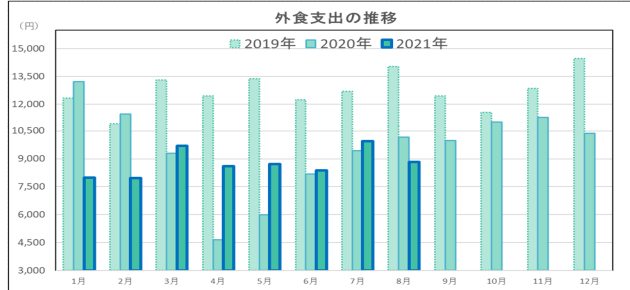
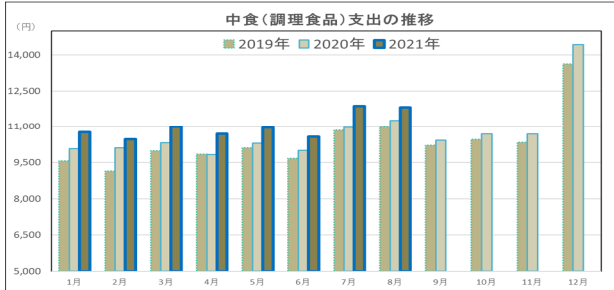
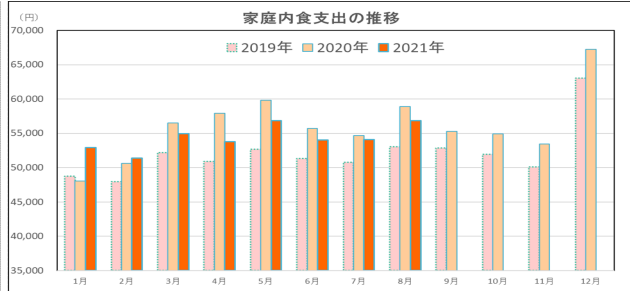
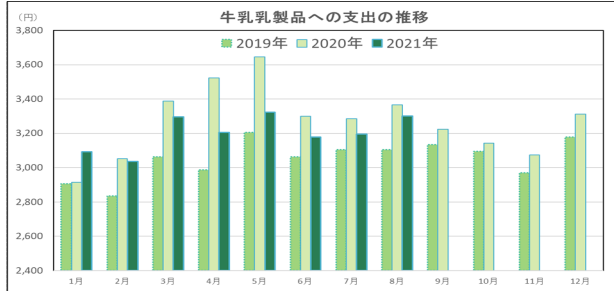
:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

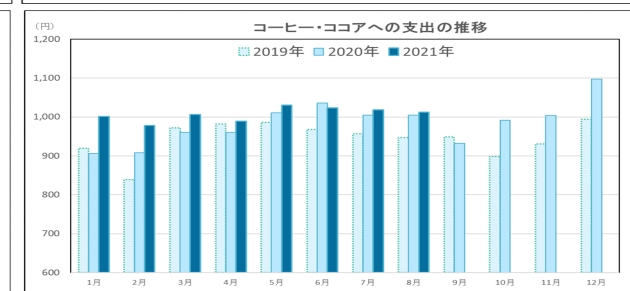
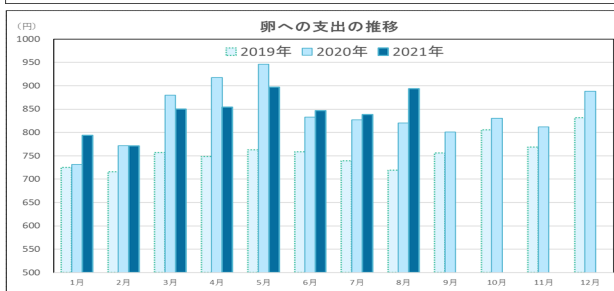
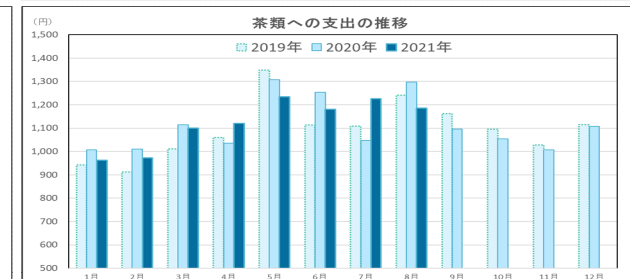
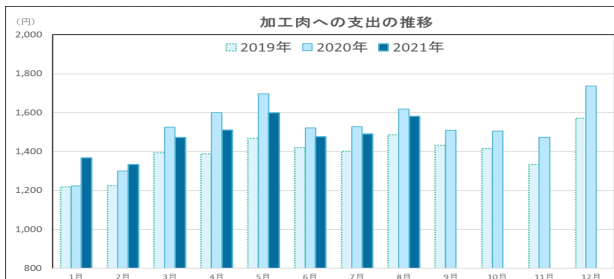
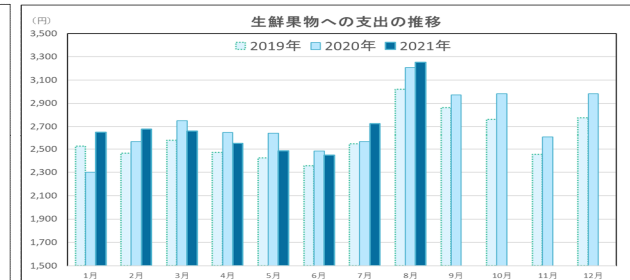
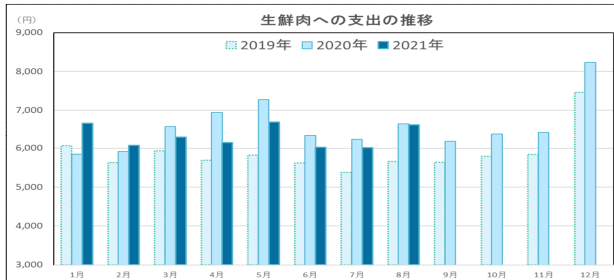
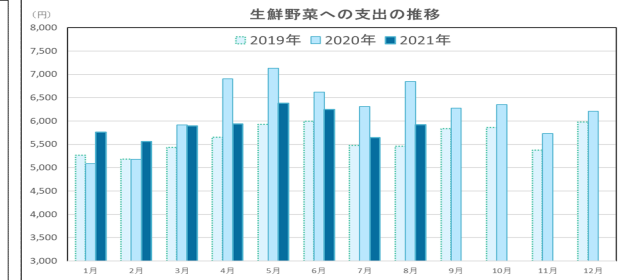
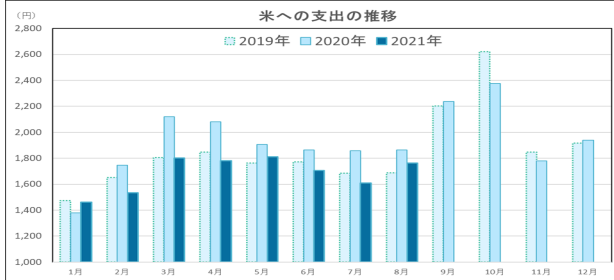
【家計支出の動向】

(1)牛乳乳製品の支出額について、引き続き前年同月を下回って推移している(前年比:98.1%、2019年度比:106.4%)。  
 (2)外食は前年を大きく下回っており、感染拡大による「緊急事態宣言」等の影響を受けたものと考えられる。

※総務省家計調査(家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)



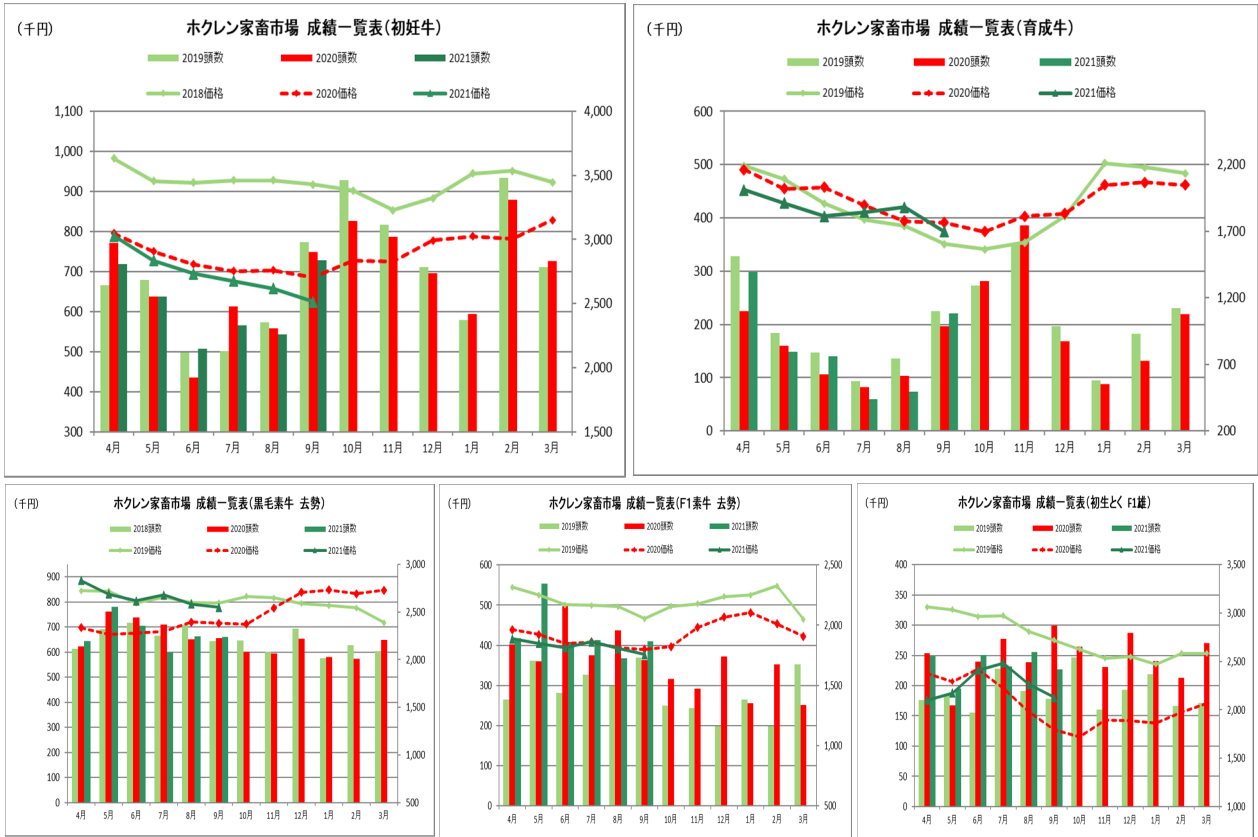
【参考:その他品目支出の動向】



【家畜販売価格動向】

(1)9月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は625千円(前年同期比91.1%)、育成牛価格は374千円(同95.7%)、和牛素牛(去勢)価格は779千円(109.0%)、F1素牛(去勢)価格は377千円(同96.7%)、F1初生(雄)価格は180千円(141.5%)。  
 (2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同97.8%、育成牛:同109.7%。また、和牛素牛(去勢):同100.6%、F1素牛(去勢):同108.9%は前年を上回ったが、F1初生(雄):同84.3%と前年を大きく下回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値 (<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)



※「2021年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」